

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間 2017年11月1日～2018年10月31日



株式会社景泉機器

2018年11月30日発行



認証番号

【目 次】

【1】組織の概要

【2】対象範囲

【3】環境経営方針

【4】環境経営目標とその実績

【5】環境活動の取組結果の評価

【6】次年度の取組内容

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

【8】代表者による全体の評価と見直し結果

【1】組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 景泉機器

代表取締役社長 落合 一雅

(2) 所在地

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦1-4-4

(3) 環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境経営管理責任者 落合 正浩

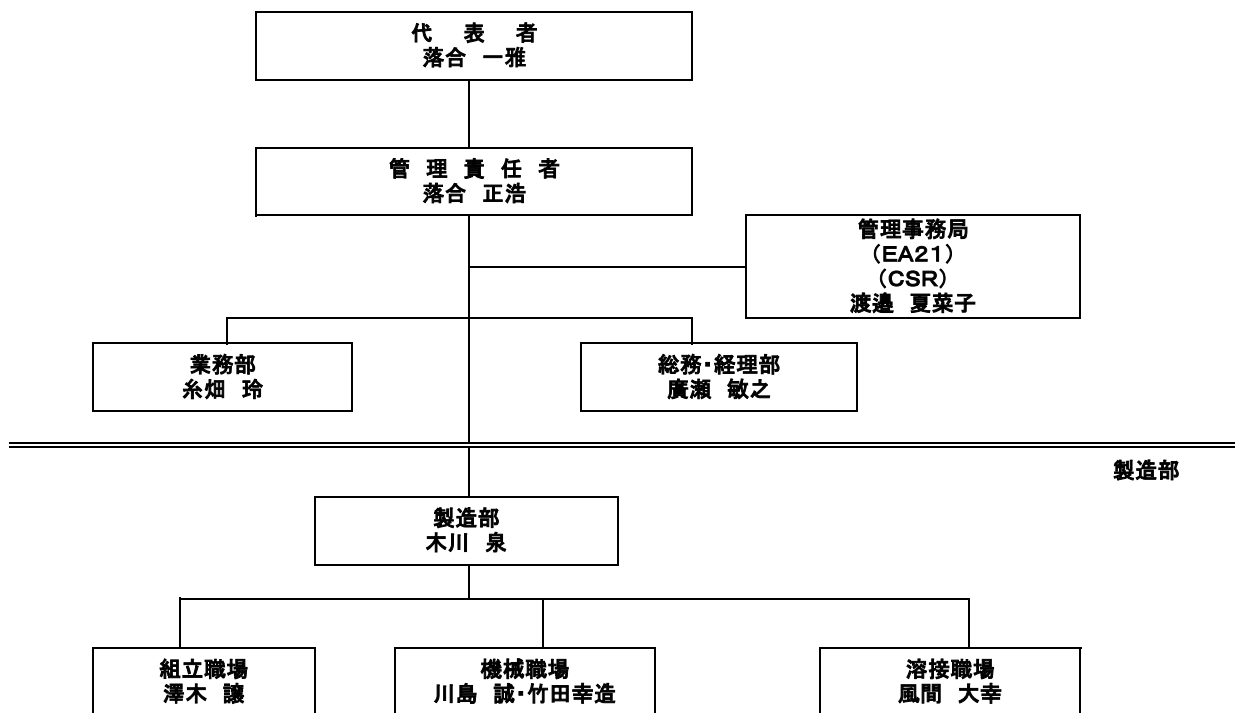
担当者(事務局) 渡邊 夏菜子

連絡先 電話 045-783-5558

FAX 045-783-5578

e-mail kanako-w@keisenkiki.com

マネージメントシステム 組織図 設定日 平成29年11月1日



油・空圧シリンダー・精密機器の製造

(4) 事業活動の内容

(5) 事業の規模

活動規模	単位	2008年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
主要製品生産	本	6517	19678	20948	25851	26691	28193	19478	20141
従業員数	人	26	24	32	34	40	42	40	41
延床面積	m2	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74	2630.74

(注) 年度は11月/10月

【2】対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

株式会社 景泉機器

(2) 認証・登録対象活動

油・空圧シリンダー・精密機器の製造

主要設備一覧

種別	型式	メーカー	台数
旋盤	MS850G型	森精機	1台
旋盤	MS1000G型	森精機	1台
旋盤	TAL560 × 2500型	滝沢鉄工	1台
NC旋盤	LB-4000EX	オークマ	1台
NC旋盤	LB-2500EX(ガントリーローダ)	オークマ	1台
NC旋盤	TL-40B 3000型	森精機	1台
NC旋盤	TL-40B 4000型	森精機	1台
NC旋盤	NLX2500MC/1250型	森精機	1台
NC旋盤	TF25型	日立精機	1台
NC旋盤	TG25型	日立精機	1台
NC旋盤	チューブ専用加工機1136型	HORIBE	1台
ターニングセンタ	SL-25Y型	森精機	1台
縦型マシニングセンタ	FRONTIER-M1	森精機	1台
縦型マシニングセンタ	MB-56VB型	オークマ	1台
横型マシニングセンタ	MA-500HB型	オークマ	1台
NCフライス	FMV-30型	大隈豊和	1台
横フライス盤	HE2型	遠州製作	1台
形削機	6500		
スカイピング	3mローラーバニシング	関西製作	1台
スカイピング	5.5mローラーバニシング	テクノ河原	1台
立型ホーニング	120 × 800L		
直立ボール盤	20インチ	篠原製作	2台
ダッピング直立ボール盤	AUD500型	芦名製作	1台
卓上タッパボール	MUDTS500	ミクニ	1台
タッピングボール盤	B-25YC型	日立精工	2台
各種卓上ボール盤	各種メーカー		6台
NC全自動鋸盤	(300mm)	アマダ	1台
NC全自動鋸盤	(250mm)	アマダ	1台
高速切断機		ニシムラ	1台
コンターマシン	300型	ラクソー	1台
CO2溶接ロボット	350L	ダイヘン	1台
CO2溶接機	350L	パナソニック	6台
アーク溶接機	300kw	ダイデン	3台
シリンダ洗浄機(自社製)			
シリンダ試験耐圧機		不二越	2台
その他仕上げ設備及び検査用機器各種油圧用油検査機			1式
動力コンプレッサー	7.5kw	三井精機	3台

環境経営方針

—基本理念—

株式会社 景泉機器は地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、相互コミュニケーションの徹底を図り、全従業員一丸となって環境負荷の低減に努力します。

—行動指針—

当社は各種シリンダー加工に係わる全ての活動及び製品の環境影響を低減するために、以下の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動及び製品に係わる環境影響を認識し、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動及び製品に係わる環境関連の法規類を順守します。
3. 当社の活動及び製品に係わる環境影響のうち以下の項目を環境管理重点テーマとします。
 - (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 再資源化および廃棄物の削減
 - (3) 排水量の削減
 - (4) 業務の効率向上による省エネ、省資源化
 - (5) グリーン商品の購入に努めます
 - (6) 化学物質の適正管理に努めます
 - (7) 職場、設備の整理、整頓、清掃ならびに工場周辺の清掃の実施
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知すると共に社外へも環境活動レポートを作成し公表します。

上記の方針達成のため、目標を設定し定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 平成22年9月1日

改訂日 平成30年11月1日

株式会社 景泉機器

代表取締役社長 落合 一雅

【4】環境経営目標とその実績

年度目標及び中期目標

環境経営目標		基準(実績)	年度目標	中期目標		
		2008年度 (通年)	2017年度 (通年)	2018年度 (通年)	2019年度 (通年)	2020年度 (通年)
二酸化炭素 排出量の削減	1、電力使用量削減	(生産量当り) 23.9kWh/本 (12.7kg-CO ₂ /本)	10%削減 21.5kWh/本 (11.4kg-CO ₂ /本)	11%削減 21.3kWh/本 (11.3kg-CO ₂ /本)	12%削減 21.0kWh/本 (11.2kg-CO ₂ /本)	13%削減 20.8kWh/本 (11.1kg-CO ₂ /本)
	2、ガソリンの燃費向上	9.6km/L	9%向上 10.46km/L	10%向上 10.56km/L	11%向上 10.66km/L	12%向上 10.76km/L
3. 廃棄物の削減		1000kg	14%削減 860kg/年	15%削減 850kg/年	16%削減 840kg/年	17%削減 830kg/年
4. 水資源投入量の削減		571m ³	9%削減 520m ³ /年	10%削減 514m ³ /年	11%削減 508m ³ /年	12%削減 502m ³ /年
5.業務の効率向上 (作業手順書の作成)		-	1製品/年	1製品/年	1製品/年	1製品/年
6.グリーン購入 (事務用品) エコ品目/全品目		-	20/20品目	20/20品目	20/20品目	20/20品目
7.化学物質 使用量の把握		-	適正管理 適正保管量、保管庫利用	適正管理 (同左)	適正管理 (同左)	適正管理 (同左)
8. 4Sの実施		-	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月	1件/3ヶ月
9.製品及びサービス		-				
①不良率の低減		現状調査	2019年度目標設定予定			
②梱包の通い箱化			2製品/年	2製品/年	2製品/年	2製品/年
③トラックの計画的配車 (臨時便の削減)		-	20%	20%	20%	20%

	使用量		CO2排出量
電力	268316	kwh	127181.8
ガソリン	6383.1	L	14819.3
軽油	1913.4	L	4946
灯油	4532	L	11282.3
総量	-	-	158229.4

(注) 1通年は11月/10月を意味する

2) 東京電力使用に伴う二酸化炭素調整後排出係数 0.474kgCO₂/kWh (平成28年度)

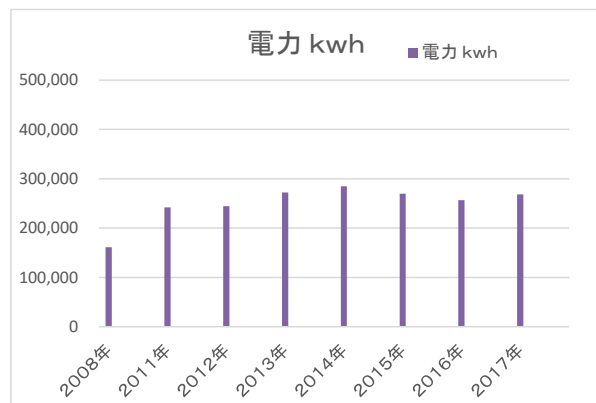
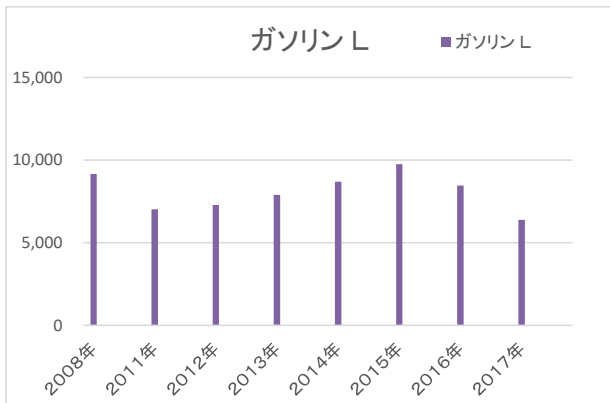
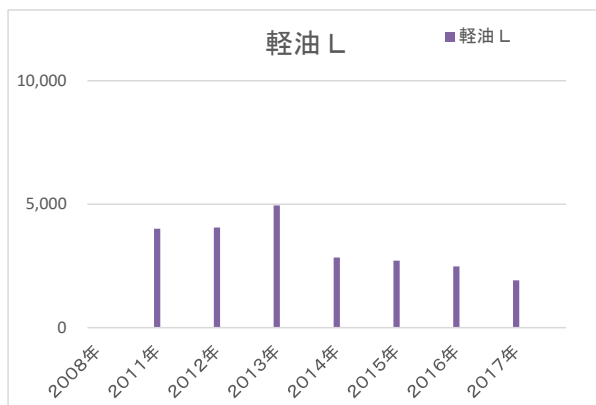
3) ガソリン使用に伴う二酸化炭素排出係数 34.6MJ/L × 0.0671kg-CO₂/MJ = 2.32 kg-CO₂/L

4) 軽油使用に伴う二酸化炭素排出係数 38.2MJ/L × 0.0687kg-co₂/MJ=2.62kg-CO₂/L

5) 灯油使用に伴う二酸化炭素排出係数 36.7MJ/L × 0.0679kg-co₂/MJ=2.49 kg-CO₂/L

・電力、ガソリン、軽油、灯油の使用実績表

		2008年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
電力	kwh	161388	241770	244398	272091	284683	269877	256777	268316	
ガソリン	L	9155	7027.5	7276.48	7891.7	8690.6	9755.1	8455.6	6383.1	
軽油	L		4006.16	4051.04	4953.6	2843	2713.3	2476.2	1913.4	
灯油	L		10556.45	10979	9859	6846.98	4051.99	5929	4532	



【5】環境活動の取組結果の評価

○：目標達成、×：目標未達

環境活動計画		取組結果の評価(2017年11月～2018年10月)			
		環境目標	実績	達成区分	評価
二酸化炭素 排出量の削減	1.電力使用量削減 ・使用しない設備の主電源off ・エアコンの温度管理 ・作業の効率向上	基準年比11%削減 23.15→21.5kwh/本 (11.4kg-CO2/本)	13.3kWh/本 (5.3kg-CO2/本)	○	必要な設備のみの電源投入や省電力設備(インバーター付きコンプレッサー等)の導入で目標を達成する事が出来ました。 ただ、夏季、冬季のエアコンの使用台数の増加もある為、来年度も目標達成をする為に、対策をしていく。(エア漏れ対策)
	2.燃費向上(ガソリンの削減) ・エコドライブの徹底	調査月比10%向上 9.6→10.46km/L	10.5km/L 走行距離→6388.9km ガソリン削減→2066L (4794kg-co2)	○	低燃費の社用車の所有が増えた事もあり、目標は達成できたが、エコドライブの推奨を行い、今後も継続的に目標達成出来る様にしていきたい。 更に、本年度より、納品等に使用する車の増車を行った為そのあたりも注視していきたい。
	3. 廃棄物排出量削減 ・廃棄物分別の徹底	基準年比15%削減 1000→860kg	854kg	○	一般廃棄物としての処分だけでなく、再利用できる資源ごみとしての分別意識も高くなってきた為、今年度は目標を達成出来たが、来年度の目標等の見直しも検討しなくてはならない。
	4. 水資源投入量削減 ・節水表示の貼り出し	基準年比10%削減 571→520m ³	9%削減 465m ³	○	前年度は、当初漏水があり、短期的に目標をオーバーする時期があったが、エコアクション21の資料を纏めている事で早期発見をする事ができ、対応も早かったと考えている。これからも維持継続をしていく。
	5.業務の効率向上 (作業手順書の作成)	1製品/年	1製品/年 シリンダ (04-5002)	○	当社製品は、類似形状のものも多く存在する為、手順書の一つ作成する事で、いくつもの製品がカバー出来る。 これを踏まえて多くの製品の手順書を今後も作成する事で業務効率UPをして行きたい。
	6. グリーン購入 (事務用品) エコ品目/全品目	20/20品目	21/21品目 (事務用品関連)	○	事務関連の用品は、大体がグリーン購入対応の物を使用している為、今後はこの購入を継続させていく事を考えていきたい
	7. 化学物質の把握	適正管理	適正管理 (適正保管量、保管庫設置)	○	主に塗料の管理が主となる為、必要なもの以外は、自社内に置かないように塗装担当者と話して進めている為、今後も継続していきたい。
	8.4Sの実施	3ヶ月毎に4S対象を増やす	・素材整理整頓 ・在庫部品整理 ・不良品整理	○	毎日朝、昼に行っている「職長ミーティング」と、月一回の「社長同行の4S巡視」を行っている事も功を奏して個人個人も「整理整頓」の意識ができてきていると考え今後も継続していく。
	9.製品及びサービス	通箱化	8製品	○	新規製品を継続リピートする場合には必ず声をかけて対応をお願いしている。 今後は、物量についても考えて協力をお願いしていきたいと考えている。
	① 不良率の低減 ② 梱包の通い箱化 ③ トラックの配車数を計画通りにし臨時便を削減する	臨時便20%以下	0%	○	今年度は生産量も大きく振れる事がなかったため、目標を達成する事が出来た。来年度も維持継続をしていきたい。

【6】次年度の取組内容

具体的な取り組み内容を以下に示します。

- (1) 電力使用量削減
 - ① 空調機の適正温度の設定、利用時間の規制、定期的な清掃
 - ② 空調機の退社前の電源スイッチの切断
 - ③ 設備・機器の未稼働時の切断、節電、準備時間の短縮
 - ④ OA機器の節電管理
 - ⑤ 不要の照明消灯
 - ⑥ クールビズ、ウォームビズの奨励
 - ⑦ 作業の効率向上
- (2) ガソリンの削減
 - ① 燃費の向上
 - ・エコドライブの実施
 - ・エコドライブ手順書の周知、フォロー
 - ② 適正な車両整備
- (3) 廃棄物総排出量削減
 - ① 両面コピー、裏面コピーの徹底
 - ② 可燃ごみの分別回収による資源化
 - ③ ペーパーレス化
 - ④ 金属くずのリサイクル化推進
- (4) 水資源投入量削減
 - ① 日常の節水(朝礼等のPR)
 - ② 節水表示の設置
- (5) 事業活動に関する取組み
 - ① 業務の効率向上(手順書の作成)
- (6) グリーン購入(事務用品)
- (7) 化学物質使用量の把握
 - ① シンナー使用量の適正管理
- (8) 4Sの導入
- (9) 製品及びサービスにおける環境配慮
 - ① 不良率の低減
 - ② 梱包の通い箱化
 - ③ トラックの配車数を計画通りにし臨時便を削減する

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
騒音規制法	空気圧縮機(7.5kw)
振動規制法	空気圧縮機(7.5kw)
横浜市生活環境の保全等に関する条例	・同上 ・別表第4(キシレン・トルエン規制基準)、指定施設から出るもの、塗装施設
廃棄物処理法	廃棄物
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処置等に関する条例	廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理
消防法	少量危険物倉庫(シンナー、塗料、灯油)
横浜市火災予防条例	同上
毒物・劇物取締法	塗料吸引規制
化管法(PRTR法)	適用外(製品にPRTR物質が含まれているが使用量が少ない)
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去4年間ありません。

【8】代表者による全体の評価と見直し結果

・評価(代表者)

同業他社でも「エコアクション21の認証」を頂いている企業もあり、この「エコアクション21」を認証頂いている企業の一員として、今後も「継続的な改善活動」及び「環境に配慮をした企業」として当社も継続認証を取得していきたい。

その為には、「報告、連絡、相談」をしっかりとした対応と、朝、昼に行っている「職長ミーティング」そして、社長も含めた職場幹部で行っている「掲示板発表」と「4S巡視」を継続していき、会社全体で一丸となって進めていく事をより一層精進していく事が大切であると考えています。

その為にも「PDCAサイクル」を全従業員が意識して改善を行い、続ける、繋げる事を周知してほしい。「継続は力なり」という言葉もあるように、難しい部分も出て来ると思うが全員で乗り越える。そんな考えと、「迅速なる対応」を心掛けてほしい。

・見直し結果

次回より、「ガイドライン」が新しくなる。これに準じて目標設定の見直しを昨年以上に進めて「変化に対応したエコアクション21の活動」としてほしい。